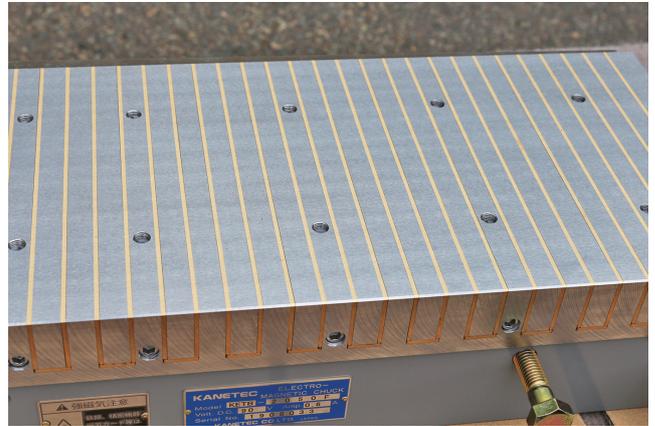


■エアアップチャック

チャックの作業面とワークの間に加工液等が浸透するなどして真空状態となり、ワークの取り外しに苦慮することがあります。特に大型ワークの研削加工後の加工面を吸着した場合、無理に取り外そうとする行為は危険です。エアアップチャックは、チャック作業面に設けた空気孔よりエアーを噴出させ、真空破壊することで取り外しを補助し安全性と生産性を高めます。ロボットを使ったワークの載せ替え補助機能や、軽量のワークの位置決め補助機能としてもご利用いただけます。(エアアップ機能で作業面を清掃することはできません。)



大型特殊品の
導入事例を
動画で紹介致します。

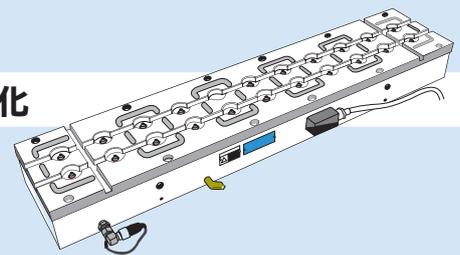


Topics

ご相談内容

KEZF-WX特殊製作事例 歪み取り研削作業の自動化

新設備導入をご検討中のお客様より、研削用アクシム®特殊製作のご相談を頂きました。研削工程自動ライン化の構想と、2点のご要望を伺いました。



ご要望

- ・時間の確保と人員配置が困難であるため、ワークサポート部のカバーを取り外してメンテナンスする必要がないもの。
- ・エアブローで研削液を大量に飛散させると、周囲を汚したり研削液量の低下に直結するため、ワークサポート部に研削液が溜まらない構造。

カネテックの 対応

- ・T溝付電磁式アクシム KEZF-WX 形を特殊製作ベース機種に採用。
- ・アクシム作業面へ、研削盤テーブル移動方向と平行な流路溝を施工し、液の滞留を緩和させる構造にしました。

結果

図面をご覧いただきながら説明し、ご採用頂けることとなりました。実際にご使用頂いたところ大変ご好評を頂き、リピートで多数ご利用頂いております。

標準品ラインアップは次のページから

※巻末のFAX・メール連絡票(引合資料)もご利用ください。